

# 「おどろき」「ときめき」「感動」体験！

写真・映像教育推進のご提案



「わくわく おどろき！ 写真体験教室」

モノクロフィルム撮影・現像とプリント体験教室  
ピンホールカメラ製作と撮影、現像・プリント体験教室

社団法人 日本写真協会  
写真・映像教育推進委員会

## 目的

小冊子『写真って楽しいよ!』を活用した学習体験から、写真・映像の「驚き」「トキメキ」「感動」が一人一人の創造力を引き出し、自己表現力、コミュニケーション力、集中力、鑑賞力などを身につけ心豊かな人間形成を図ります。

## 内容

小冊子を使って写真の撮り方やカメラの扱い方、写真の仕組み、写真の歴史などがわかります。

「わくわく おどろき! 写真体験教室」では、コンパクトカメラに黑白フィルムを入れて撮影し、フィルム現像処理から仮設の暗室での引き伸ばしプリントが実際に体験できる「モノクロ写真体験教室」とピンホール(針穴)カメラを組み立て、撮影し、ネガづくりからポジ(プリント)づくりまでを体験できる「ピンホール写真体験教室」のプログラムを用意しています。これらの体験教室で使用するカメラや使用機材などは当協会より無料貸し出しをしております。

この2つの体験教室は、子どもたちに喜ばれていますが、小冊子だけの講義、貸し出しカメラによる撮影のみの体験教室など、様々なプログラムがありますのでご相談ください。

## 実施時間

「モノクロ写真体験教室」の学習時間の理想は1日(午前中に撮影、フィルム現像処理、午後から引き伸ばしプリント)ですが、人数や時間、場所などその状況に合わせて最低2時間半から実施可能です。「ピンホール写真体験教室」も、ほぼ同様です。

教室開始前に1~2時間ほど、教室、暗室ほかの準備・設営のための時間が必要になります。午前中からの開催になる場合は、前日に準備・設営ができることをお願いしています。

## モノクロ写真体験教室

### 1. 開会・カメラの扱い方の説明

写真体験教室のスケジュールとカメラの扱い方をマスターします。

### 2. カメラによる撮影体験

黑白フィルムを使って撮影します。撮りたいもの、興味を持ったもの、まずは何でも撮ってみます。

### 3. 撮影済みフィルムの現像処理体験

黑白フィルムの現像を通じてネガ像を理解してもらいます。ダークレス現像キットを使って明るい部屋で行います。

### 4. 『写真って楽しいよ!』を使ったお話

フィルムが乾燥する間、小冊子をもとに写真についての勉強をします。針穴写真機をのぞく体験なども行います。乾燥したフィルムをネガシートに入れて、その中からプリントする写真を選びます。

### 5. プリントづくり体験

暗室(オレンジ色のセーフライトを使いますので作業や像が出てくるところが見えます)で引伸機を使って実際に引き伸ばし(拡大)プリント焼き付けから現像処理まで黑白写真を作ってもらいます

### 6. 写真(作品)発表

写真のできあがりなど、いろいろ発表し、話し合ってもらいます。



貸し出しコンパクトカメラ



フィルム現像キット



特製引伸機



いろいろと撮影してみます



ダークレス現像キットでフィルム現像



乾燥したネガフィルム



暗室の中でプリントします



できあがったプリントを発表

## ピンホール写真体験教室

フィルムカメラを使用する写真体験教室と異なるのは、レンズを使用しない針穴だけのカメラを作り、自分の手でシャッターを開け閉めして撮影することと、黒白が反転したネガ画像をちゃんとした画像（ポジ画像）にすることを体験できます。ただし、暗室に戻って撮影用印画紙を入れるので撮影できる数が限られます。

### 1. 開会・ピンホールカメラの組み立て

紙製の箱形のピンホールカメラを組み立てます。組み立てにはハサミやノリを使いません。ピンホール（針穴）は当協会が用意しています。箱の内側を黒のマジックインクで塗ったり、針穴やシャッターを黒テープで貼る作業があります。



ピンホールカメラを組み立てます

### 2. ピンホールカメラによる撮影体験

暗室内でピンホールカメラに、フィルムとなるキャビネサイズのモノクロ（黒白）印画紙を入れてから、撮影に移ります。露光時間は晴天で15秒、曇天だと4～8分かかります。撮影場所は限られますが、雨天での開催も可能です。



音楽室で撮影中、露光時間は8分でした

### 3. 撮影済み印画紙を現像

撮影後は、暗室に戻り印画紙を現像してネガ画像（黒と白が反転した画像）を作ります。再度、暗室内で撮影用の印画紙をもらい、2回目の撮影に行きます。撮影後はまた暗室に戻り、印画紙を現像します。



晴天の屋外では、15秒ぐらいで撮影できます

### 4. 『写真って楽しいよ!』を使ったお話

ネガ画像が写っている印画紙が乾燥する間、小冊子を使った写真についての勉強や針穴写真の勉強をします。

### 5. プリントづくり体験

暗室で特製の密着プリント用イーゼルにプリント用の六切サイズ印画紙を入れ、その上にネガ画像のキャビネ印画紙を画像の見える方を下にして置き、懐中電灯を点けて露光します。露光後は現像してプリントを仕上げます。



### 6. 写真（作品）発表

写真のできあがりなど、いろいろ発表し、話し合ってもらいます。製作したピンホールカメラ、およびネガ画像とプリントは持ち帰ります。

なお、いずれの写真体験教室とも参加者全員に「修了書」を渡しています。



ピンホールカメラとできあがったプリント

## 申し込み方法

当協会に直接お申し込みください。写真関連の機材、暗室設営の資材、フィルム・印画紙・薬品などは、当協会が手配します。

会費など費用につきましては、ご相談ください。

## 開催まで...

写真体験教室の開催については、当協会にお申し込みください。

学校、公民館、博物館などの会場、参加する子どもたち（親子）に合わせて企画内容を当協会スタッフと調整します。これまでの実績では、保育園・幼稚園児の年長組も参加しています。

開催日時、参加者数、実施コース（回数）・プログラムおよび主催者側のスタッフ（お手伝い）の人数なども決めます。

実施コース1回当たりの参加人数は、<モノクロ写真体験教室>の場合 = 20名以下、<ピンホール写真体験教室>の場合 = 30名以下が望ましいですが、詳しくは要相談です。

体験教室の参加呼びかけや告知は、主催者側で行っています。

体験教室で使用する機材などは、前日に会場に届くように当協会が手配いたします。

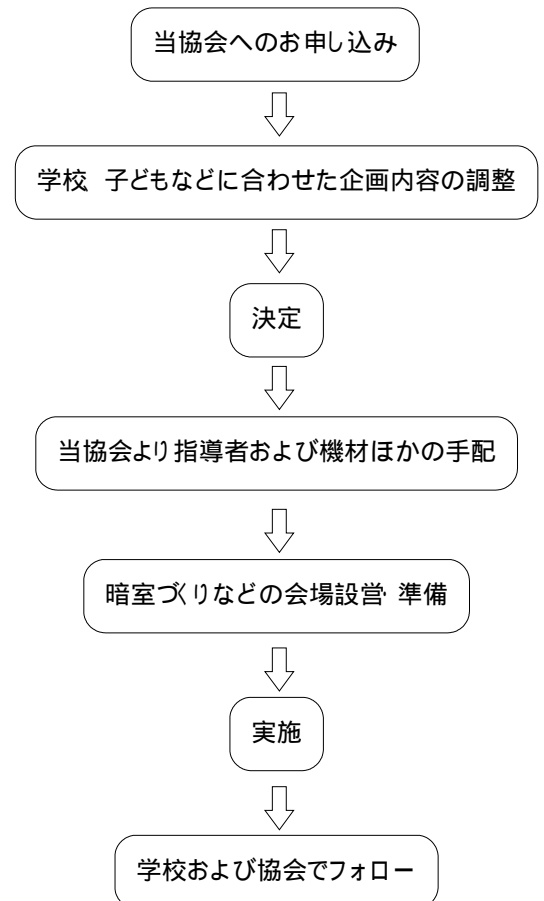
体験教室開催の前日または当日に会場を準備します。会場は2部屋、うち1部屋は暗室になります。また、フィルム・印画紙の水洗ができる「流し」も必要です。

当日設営の場合は、開催2時間前から会場設営ができるようお願いいたします。

開催前日または当日の設営・準備中に主催者側スタッフに対して、事前のフォローを実施します。

終了後は、後片付けと機材などの搬出を行います。

## 体験教室実施までのワークフロー



## <その他>

- ・当協会では、今後の開催に役立たせるために参加者へのアンケート調査と作品1点の提出をお願いしています。ご協力ください。
- ・開催会場については、2部屋なくてもできる場合がありますので、ご相談ください。

申し込み・問い合わせ先は  
社団法人 日本写真協会 写真・映像教育推進委員会  
〒102 - 0082 東京都千代田区一番町 25 J C I I ビル 4 F  
TEL 03-5276-3585  
FAX 03-5276-3586